

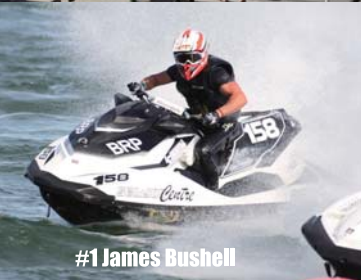
2011 QUAKYSENSE

IJSBA WORLD FINALS

In Arizona Lake Havasu



PRO&GP RUNABOUT
James Bushell



#1 James Bushell



#10 Norito Nakano



#4 Masaharu Takenoshita



#4 Masaharu Takenoshita

今回ご紹介するのはジェットスポーツ世界一決定戦!!開催されたのはアメリカのアリゾナ州レイクハバラスティ。ここで行われたのが、「IJSBAワールドファイナル」。ここにはレイクハバスと呼ばれる広大な湖があり、ここはジェットレーサーにとってはまさに『聖地』とも呼ばれる場所なのである。そのため、ここレイクハバスには毎年多くの腕自慢の参加者達が世界各国から集まり、白熱したハイレベルの戦いが繰り広げられているのである。そして今年は記念すべき第30回目を迎える大会ということもあり、会場はいつも以上の熱気で盛り上がっていた。さすがに世界大会ということで、どのクラスを観ていても非常にレベルが高い。本当に観ていても全く目を離せない。その中でも今回はプロランナバウトクラス及びGPランナバウトクラスに注目していこうと思う。このクラスはどのマシン

も極限までチューニングが施されており、一体どれだけのポテンシャルを秘めているのか全く想像が出来ない程である。レースを観ていると、どのマシンも素晴らしい走りでも多くの観客を魅了していた。そんな中で、このハイレベルな戦いを制したのは、イギリスのジェームス・ブッシュェル操るシードゥ。このマシンは来季RXP-X260RSに使用されているT3ハルのライトウェイトタイプを既に使用していた!!その威力はまさに驚異的でブッシュェルのマシンの直線での伸び、コーナーでのスピードは他のマシンを圧倒するものがあり、プロランナバウトクラス及びGPランナバウトクラスで圧倒的な走りを見せつけ、見事2冠を達成した!!それと共に、改めて来季発売になるRXP-X260RSのポテンシャルの高さを表す結果となっていた。